

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date:2016 年 3 月 3 日

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I 講座・教授
氏名 Name	杉村博文
専門分野 Academic Field	言語学 (3201)、外国語教育 (3205)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	現代中国語の意味とシンタクス
公刊研究論文	
一、「現代中国語当否疑問文の応答方法」(服部瑠美と共著)、『現代中国語研究』第 17 期、p. 26-44、2015 年 10 月 20 日。	
二、「袁毓林〈汉语意合语法的认知机制和描写体系〉をめぐって」、『中国語学』262 号、p. 31-56、2015 年 10 月 31 日。	
三、「汉语第一人称施事被动句的类型学意义」、『世界汉语教学』2016 年第 1 期、p. 3-15、2016 年 1 月 5 日。	
研究発表	
一、「不同类型语言“昨天大阪下了一场大雨”表达方式调查报告」、第二届语言类型学国际学术研讨会(南昌大学、2015 年 10 月 16 日-20 日)	
※「第二回言語類型論国際シンポジウム」基調報告。報告原稿と報告用 ppt を提出。論文にまとめるには至っていない。	
その他	
一、下記作品を「現代中国語小説コーパス」に追加した。 刘震云『刘震云自选集(上・下)』420,000 字、厉春蛟『生灵』204,000 字、娟娟『原罪』279,000 字、庸人『北京爷们儿』200,000 字、吕铮『巴士警察』130,000 字。	
二、研究論文「“鮫鱈”和“鯰”」を「史有为教授 80 华诞庆祝文集」(仮題)に寄稿した。	